

会 報

第37号

令和6年11月1日

わかば支援学校同窓会

山梨県南アルプス市有野 3346-3

わかば50周年を寿ぐ

会長 長倉 正裕

同窓会会員の皆様、こんにちは。わかばは昨年、創立50周年を迎え、今年の10月に50周年記念式典が行われました。これまで刻んできた50年の歴史を考えますと感慨深いものがあります。

今年も無事に同窓会総会と親睦会が開催されました。以前は学校にて開催され、いろんな年代の方々がつどい、美味しいカレーを食べたり、ゆったり楽しいひとときを過ごしたりしました。コロナ禍により3年間中止となり、4年ぶりに昨年復活するも、夏の猛暑等の影響により学校開催が困難と判断し、あやめホールにての開催となっています。当然、学校ではないので以前のようにはいきません。わかばの学校に行きたい、わかばの学校で開催してほしい。その思いは届いています。近い将来、学校開催できるよう尽力してまいりますので、しばらくお待ちください。一方、創立40周年から10年の間に老朽化した建物や敷地が整備され、とても環境が良くなりました。生徒と教職員の皆様はいつも気持ちよく通われていることでしょう。私も理事会等で学校に訪れる度に清々しい気持ちになります。

わたしたちのふるさとわかばの50年の歴史には、常に子供たちを思う教職員と保護者の皆様が積み上げてきた愛情がいまも尚、息づいており、その恩恵を改めて感じ入るものであります。

わかば支援学校は大きな節目を迎え、また新たな歴史が始まります。これからも子供と教職員と保護者の皆様が手を取り合い、次の60周年に向けて、ゆっくりと歩んでいきましょう。

ご挨拶

校長 小林 勝

同総会会員の皆様には、日頃より同総会活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。昨年度に引き続き、本年度も同窓会総会及び親睦会に多くの皆様にご参加いただき、執り行うことができましたこと、うれしく思います。久しぶりに懐かしい友達や先生とお話をしたり、楽しい時間が過ごせたりしたことと思います。

第2回同窓会理事会にて、来年度の総会及び親睦会も本年度同様に楡形のあやめホールで開催する方向ですので、是非、多くの会員の皆様にご参加いただければと思います。また、本年度は、わかば支援学校創立50周年記念式典を10月23日に行いました。在学中には今回の記念式典開催に向けてPTA積立にご協力いただいておりますので、直近10年間にご卒業なさった同窓生の皆様に、「記念ハンドタオル」と「リーフレット」を郵送させていただきます。

会員の皆様も体調に留意され、健康にお過ごしください。

来年の総会・親睦会で、また、楽しい時間を過ごしましょう。

同窓会会員の皆様、こんにちは！

PTA会長 池田 智子

本年度、わかば支援学校PTA会長をさせていただいております、池田と申します。ご縁あって本同窓会の理事もさせていただいております。よろしくお願いいたします。

先日、同窓会総会及び親睦会に参加させていただきました。わかばの卒業生の活発さ、卒業しても続く仲の良さ、懐かしい先生との交流を拝見させていただきました。

卒業し、様々な場面で活躍している同窓生の皆様が、共に過ごした期間の長さはどうあれ、時が経っても変わらず仲良く過ごしてほしいなと期待を込めて眺めておりました。（親同士の交流も見受けられ、個人的に嬉しく思います！）

本校同窓会も30年以上続いているとのこと、今後も末永く交流が続きますよう、お祈りしております。

季節柄、感染症等の心配もあるかと思います。皆様もご家族の皆様も引き続きお気を付けくださいませ。





新会員の皆さん

仕事を始めて思ったこと

平賀 有さん（R5年度卒業生）

わかば支援学校を卒業して約半年が経ちました。私は、かしのみラボで働いています。グループホームから自転車や徒歩で通勤しています。かしのみラボでは、色々な果物でドライフルーツを作っています。果物を切りトレイに並べて、乾燥させて、ドライフルーツにしています。その他にも、箱折りの作業やみかんとりんごといちごの紅茶セットも作っています。

計量したドライフルーツを袋詰めにした商品を、1か月に2回わかば支援学校へ販売に行きます。たくさんの先生方を買ってもらえた時は、商品を一生懸命作ってよかったと思い、うれしい気持ちになりました。

いただいたお給料で、服など自分の好きなものを買っています。

グループホームに住んでいますが、洗濯をしたり、部屋の整理整頓をしたりしながら忙しい日々を送っています。グループホームの方々と話をして楽しく過ごしています。



社会人になって

秋山 星羅さん（R5年度卒業生）

わかばを卒業して半年が経ちました。私は、ふじかわどりいむで働いています。初めのころは、仕事ができるのか不安でしたが、毎日頑張って通ううちに不安もなくなり、楽しく仕事が出来ています。今は仕事にも慣れてきました。

主にコロッケを作る仕事（計量や成形、パン粉づけ）をしています。

他にも職員さんと一緒に車で、決められた場所に行き、お客さんに大きな声で元気よく声をかけて販売をしています。私にとってあいさつやはっきり声を出すことが大変と思っているので、意識できるようにいつも心がけています。

社会人になって感じることは、「朝は自分で起きる事」「時間を守る事」

「しっかり仕事を覚える事」「休まず仕事に行く事」が大切だと思います。

ふじかわどりいむでのBBQや日帰り旅行などに、

初めて参加しましたが楽しかったです。これからも頑張って働いていきたいと思っています。



毎日事業所へ通っています

安達 愛さんの母（R5年度卒業生）

「いってきま〜す」「はい、頑張って」「ばいばいき〜ん」

わ〜く穴山の里の迎えの車に乗り込み、姿が見えなくなるまで手を振り続ける。

私は、「今日も頑張れ」と、念を送りながら手を振る。これが毎日のルーティーン。

娘はわ〜くさんと、箱折りやガス調整器の組み立て、乾物の計量などの仕事をしている。箱折りには、「箱折り検定」なるものがあり、タイムや枚数などで級や段がある。娘は「見習いアマチュア」これから丁寧確実に取り組み、級が上がることを目標に、わかばの先輩や仲良しの同級生と切磋琢磨しながら、「はたらく」ことを意識して、日々はたらいっている。

また、月に一泊の短期入所にも挑戦中。初めはさみしくて夜中の二時ごろまで職員さんにそばにいてもらっていましたが、今はやっと、一人で眠れるようになりました。

たくさんの方々の力添えで今の娘があることに、感謝の気持ちを忘れずに、声を大にして伝えたい。

「ありがとうございます」

